

うたの 泉

昔むがす、埒もねえごとあつだづも

昔話となるときよ早来よ

佐藤 通雅

(1943年)

266

NIE

昔むかし、どつしやうもない
ことがあったのだよ。昔話とな
る時よ、早く来い。

作者は仙台市在住。現在、本
紙「河北歌壇」の選者を務めて

います。この歌には、作者のこ
ころとからだから、絞るように
土地の言葉で発せられた静かな
祈りが、深く閉じ込められてい
ます。

震災から6年。「復興」への道
のりはまだまだ遠いですが、私
たちはこの祈りに満ちた歌を信
じて混迷の時代を生きていかな
ければなりません。(本田一弘)

①「埒もねえごとあつだづも」とは、どのような意味でしょうか。鑑賞文から書き抜きましょう。

②この歌は「土地の言葉」で歌われています。このことについて、どのような感じを受けますか。

③「昔話となるときよ早来よ」に込められた作者の思いを考えて書きましょう。